

第1回 一般財団法人レオーネ 理事会議事録

日時：2024年8月18日 11時30分～12時30分

場所：下田ベイクロシオ 石路

出席者：田中理事長、楠山理事、渡邊理事、武内理事

議題

- 1.今後の財団運営の方向性について
- 2.理事の経費について

1.今後の財団運営の方向性について

田中理事長「当財団は現場で汗を流して働く勤労者から得た資金を未来の子供たちに働く喜びをつなげていく財団としたい。特に第一次産業に支援を行うこととしたい。では、これをどのような形で広めていくかということであるが、まず、小・中・高校に知らせていき、子供達が参加する自然体験を通じて財団の取り組みを周知させていくことが有効であると考え。自然体験を通じ、一次産業への親しみをもち、野菜工場や近代的農業そして近代的漁業（陸上養殖）などに取り組んでいきたい。」旨発言があった。これに対し、

楠山理事「現在下田にはこれに対する受け皿（働き口）がほとんどない状況である。」

渡邊理事「子供にとってのきっかけはいろいろある。だからいろいろな自然体験をさせたほうがよい。場を与えてあげることで花開く子が出てくると思う。」との意見が出された。

次に財団の存在を広めていくという視点について、

楠山理事「伊豆新聞からの取材がないということは、ネタとして弱いと感じていのではないだろうか。イベントや子供たちの体験会を財団が支援しました、というのが実績として出てくれば新聞としても取り上げやすいのではないかと考えている。例えば南伊豆分校の取り組み（担当サトミさん）を財団が支援するなどがあげられる。また、子供たちにとって楽しい体験状況をどのように作っていくのかは重要であると考え。これらを実施している事業者の活動が、当財団の目指す方向性と合致すれば支援していくのもよいと考える。」との発言があった。これに対し、

渡邊理事「前回の財団発会式にて共有した資料記載の団体に企画書を提出させて理事会にて審議するのはどうかと。」の発言があり、理事長承認のもと、全員一致で認可された。

自然体験の場について、

田中理事長「現在ミノルホールディングス（株）で保有している寝姿山にある土地やナンスビレッジを有効に活用することができると考えている。将来寝姿山にある土地やナンスビレッジは財団に寄付する考えもある。」これに対し、

楠山理事「寝姿山の整備は防災上も課題である。下田市としても国の法改正を受けて自治体として管理する流れができていますので、何かしらで連携したいと考えています。」旨の発言があった。

2.理事の経費について

理事の経費は年間 5 万円とする。